

anthis Nexus D850

取扱説明書 [カメラ編] V1.2

このたびは、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に本書 [カメラ編] 並びに別冊子 [ハウジング本体編] をよくお読みいただき十分ご理解のうえ、Nexus ハウジングを安全に正しくお使いください。
お読みになったあとも、大切に保管してください。
カメラをハウジングにセットしたら、水中で使用される前に必ず、全ての操作部が確実に操作できることを確認してください。

取扱説明書で使用している画像やイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

a n t h i s

目 次

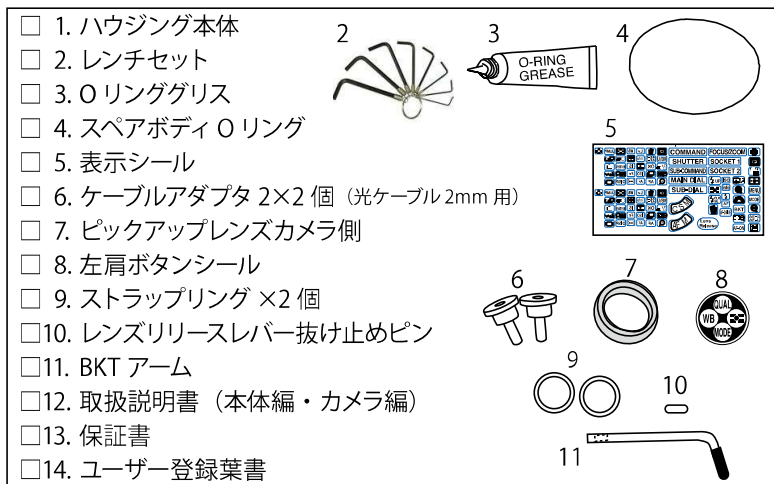
パッケージ内容の確認	1
ユーザー登録	1
必ずお読みください	1
保証書について	1
各部の名称と主な機能	2～5
セッティング前のカメラの準備	
・ストラップ取り付け部 三角リングについての注意	6
・コマンドダイヤルの油分取り除き	6
・その他の準備	6
操作の詳細	
・ISO ボタンの操作と解除	7
・露出補正ボタンの操作と解除	7
補足説明	
・フォーカスノブの AF・MF 切り替えについて	8
・AF モードボタンを BKT ボタンに変更する	8
・レンズリリースの機能を止める	9
故障かな？と思ったら	
・コマンド / サブコマンドノブの滑りや空回り	10
・背面ボタンが作動しない	10
・ISO ノブが回らない	10
・外部拡張 AF-ON ボタンのクリーニングについて	10

Nexus D850 をお使いになる前に

この度は、Nexusハウジングをお買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前に、以下のことを行ってください。

●パッケージ内容の確認

以下のものが、パッケージに含まれているか確認してください。



注意
パッケージ内容に誤りのある場合は下記へご連絡ください。
㈱アンティス
〒444-2137
愛知県
岡崎市数田
1-16-1
☎0564-25-3937

●ユーザー登録

ユーザー登録葉書は必要事項を記入して、必ず投函してください。
この葉書によってお客様は本製品のユーザーとして登録されます。

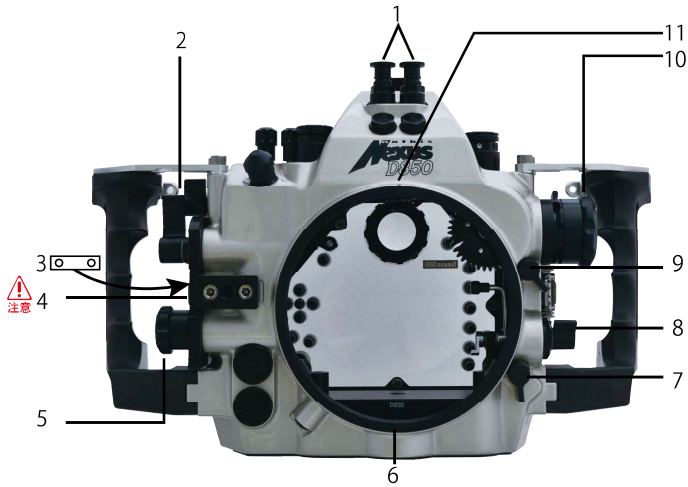
必ずお読みください


- 安全にご使用いただくために取扱上の注意は大変重要です。よくお読みになり十分ご理解されてから、ご使用されることをお願いいたします。
- 潜降を始める前に浅いところで、水漏れがないか、正常に操作できるか必ず確認してください。
- 水漏れ事故を起こした場合のハウジングやカメラ、レンズの損害、撮影のための諸費用などの補償についてはご容赦ください。
- ハウジングやカメラ、レンズの為の保険『アンティスセーフティプラン』をご用意しております。ご質問やご希望のある方は、別紙連絡先へお問い合わせください。

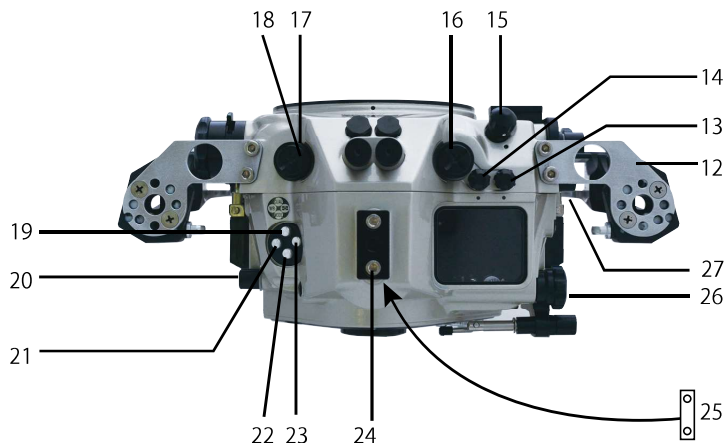
保証書について

- 保証規定をよくお読みください。
- 期間はご購入日より1年間で日本国内のみ有効です。
- 保証書の再発行はいたしません。大切に保管してください。

各部の名称と主な機能

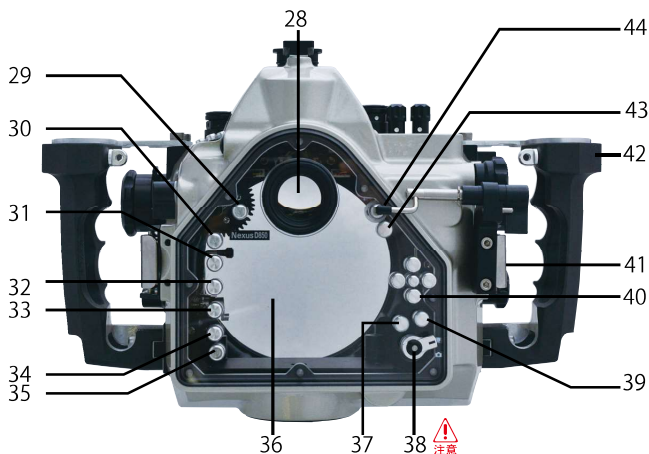


- 1 光ソケット（光接続）
光ケーブルを接続し、LEDの発光を外部ストロボに伝達します。付属品のケーブルアダプタを差込んでください。
- 2 シャッターレバー
手前に引いてシャッターボタンを操作します。
- 3 防蝕垂鉛プレート
意図しない腐蝕を防ぐためにボディとTスライドベースの間に挟み込まれています。
- 4 Tスライドベース 
Nexusアーム（別売品）などのアクセサリが取り付けられるようになっています。外径の大きいフィッシュアイポートなどを取り付ける場合は外してください。Tスライドベースとポートが干渉し、ネジが最後まで閉まらず、すき間が生じるため防水機能が失われます。
- 5 サブコマンドノブ
サブコマンドダイヤルを操作します。
- 6 Oリング接触面
ポートのベースOリングがあたる面で防水に重要な箇所です。傷、ホコリなどを防ぐために移動、運搬、保管の際はボディーキャップ（別売品）で保護してください。
- 7 フォーカスモードセレクトレバー
フォーカスモードセレクターを操作します。
（▶取扱説明書 本体編 P4）
- 8 レンズ取り外しレバー
レンズ取外しボタンを操作します。
- 9 AFモードレバー（BKTレバー）
AFモードボタンを操作します。内部のアームを付属のBKTアームに交換するとBKTボタンに変更することができます。
- 10 フォーカス/ズームノブ
単焦点レンズのマニュアルフォーカス操作をします。ズームレンズでは、ズーム操作をします。レンズに合ったギアを選び取り付けてください。
- 11 ポート取付け指標

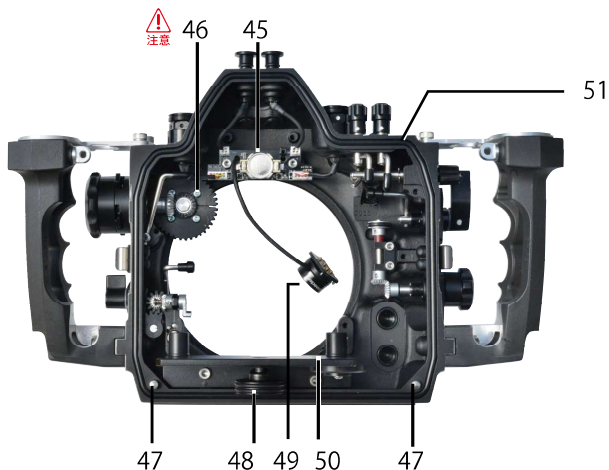



- 12 **グリップアップパーステー**
グリップを保持します。事故の衝撃を吸収するだけでなく、万一グリップが折れても分離を防ぎます。右グリップ用、左グリップ用があります。
- 13 **露出補正ノブ** (▶本書 P8)
- 14 **ISO ノブ** (▶本書 P8)
- 15 **電源スイッチ** (▶本書 P8_ 本体編 P5)
- 16 **電気ソケットメイン** (電気接続)
カメラと外部ストロボをニコノス 5 ピン対応の電気ケーブルで接続します。5 ピン端子の接続部は、ピンの配置に合わせて、差し込んでください。i-TTL 調光対応のストロボでは、TTL 自動調光が可能です。これ以外のストロボは X 同調のみ可能です。
- 17 **電気ソケットサブ** (電気接続)
2 灯めの電気ソケットで、X 同調のみ可能です。
- 18 **シンクロキャップ**
ソケット内部を保護するキャップです。シンクロコードを接続する時以外は外さないでください。
- 19 **QUAL ボタン**
- 20 **再生レバー**
▶ ボタンを操作します。
- 21 **WB ボタン**
- 22 **MODE ボタン**
- 23 **AF ボタン**
- 24 **T スライドベース**
- 25 **防蝕亜鉛プレート**
意図しない腐蝕を防ぐために、ボディと T スライドベースの間に挟み込まれています。
- 26 **メインコマンドノブ**
メインコマンドダイヤルを操作します。
- 27 **動画撮影レバー**
動画撮影ボタンを操作します。

注意
キャップが外しにくい場合はコイン等で緩めてください。反対にコイン等で締める場合は締め過ぎに注意してください。行き止まりまで締めたら、ほんの少し戻してください。



- 28 **ピックアップファインダー**
 ファインダー像を縮小し、全視野を確認しやすくなっています。カメラのファインダー部にピックアップレンズカメラ側が必要です。(▶本書 P6~7)
- 29 **削除ボタン**
- 30 **MENU ボタン**
- 31 **🔑 ([] / ? ボタン)**
- 32 **⊕ ボタン**
- 33 **📷 (1/4) ボタン**
- 34 **OK ボタン**
- 35 **Fn2 ボタン**
- 36 **モニターウインドウ**
 見やすい大型のウインドウは Nexus の特長です。大きな視認性を持ち液晶モニターを確実にサポートします。
- 37 **i ボタン**
- 38 **ライブビュー切替えレバー / [Lv] ボタン** ⚠ 注意
 レバーを回して動画 / 静止画の設定をします。
 カメラをセットする際にカメラの設定とレバーの指標を合わせてください。リアボディを閉めた後に合わせることはできません。(▶本体編 P6) 中央のボタンを押してライブビューの開始と終了を操作します。
- 39 **[info] ボタン**
- 40 **マルチセクターボタン**
 マルチセクターの4方向と中央のボタンを操作します。
- 41 **ラッチ**
 左右2箇所のでフロントボディとリアボディを固定します。
- 42 **Nexus セイフティグリップ**
 輸送中に過大な力がかかると衝撃を吸収し、変形しやすくなっています。ボディの安全に配慮されたグリップで、事故の発生が一目でわかります。
- 43 **サブセクターボタン**
 サブセクターの中央を操作します。上下左右は操作できません。
- 44 **AF-ON ボタン**
 シャッターレバーに指を掛けたまま、レバーで AF-ON ボタンを押すことができます。



- 45 NSS-N (Nexus Synchro System Nikon) 基板
光接続が 2 灯、電気接続が 2 灯、同時に使用できます。
(▶本体編 P7_NSS-N について)
- 46 2 モードギア 
標準の 40 モードと大口径レンズ対応の 30 モードの 2 段構造になっています。
モードはレンズやギアの径に応じて設定します。(▶本体編 P8_2 モードギアの取り扱いについて)
- 47 ボディロックピン
フロントとリアボディの合わせガイドです。左右にあります。
- 48 カメラホルドスクリュー
カメラの三脚ネジ穴に取り付け簡単にカメラの着脱ができます。
- 49 NSS-Nikon カメラコネクタ (Nexu Synchro System Nikon Connector)
カメラのアクセサリースューに接続します。(▶本体編 P5)
- 50 ベースプレート
カメラを正確に位置決めします。カメラ、レンズからの振動を確実に受け止めます。
- 51 ボディ O リング
密閉性や防水性を確保します。取り扱いによっては防水機能を損なう場合があります。(▶本体編 P15_O リングの取り扱い参照)

■主な仕様

- 適応カメラ : ニコン D850
 主な材質 : 耐蝕アルミ合金鋳物
 寸法 : (W×H×D) 約 316×206×138
 重量 : 約 2,490g (陸上 グリップ含む)
 実用耐水深 : 75m

ストラップ取り付け部 三角リング について

三角リングとのすき間はほとんどありません。カメラを正しくセットするため、以下の注意事項をお守りください。

- 三角リングの黒い保護用カバーは外してください。
 - リアボディを閉める前に、三角リングを上向きにしてください。
- ※ 差し支えなければ、三角リングは取り外されることをお勧めします。



三角リング



保護用カバー

メインコマンドダイヤル／サブコマンドダイヤルの油分除去

• カメラのダイヤルのワックス、皮脂、指紋等をカメラ専用のクリーニングクロスやペーパーで丁寧に拭き取ります。

※ ダイヤルの油分が、ハウジング内部のホイールの O リングに付着すると、滑りやすくなり、ノブが空回りして操作ができない場合があります。

その他の準備

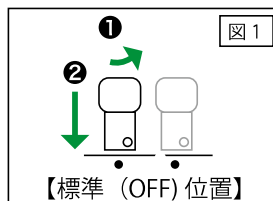
- 液晶モニターカバーがついている場合は取り外します。
 - 1コマ撮影や連続撮影など、レリーズモードを選択します。
 - フォーカスポイントロックレバーのロックを解除します。
- ※ 詳しくはカメラの使用説明書をご覧ください。

ISO ボタンの操作と解除

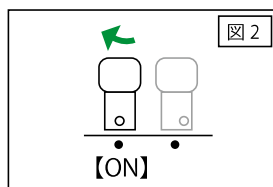
ノブの指標（以下白印）と本体の指標（以下黒印）を合わせると、ボタンが押されます。

1. ノブを右に止まるまで回し、下げます。

☞ 図-1

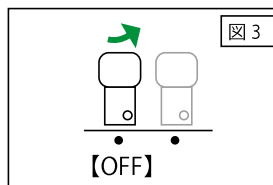


2. 【ON】 ノブを左に回し、白印を本体の黒印に合わせます。☞ 図-2



3. 【OFF】 ノブを右に回し元の位置に戻します。☞ 図-3

操作時以外は、誤作動を避けるため、アームの先端を、ボタンから離しておいてください。

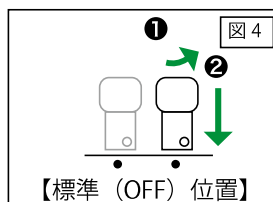


露出補正ボタンの操作と解除

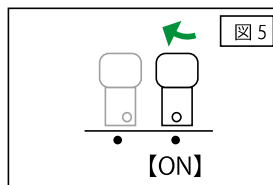
ノブの白印と本体の黒印を合わせると、ボタンが押されます。

1. ノブを右に止まるまで回し、下げます。

☞ 図-4

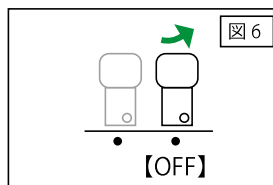


2. 【ON】 ノブを左に回し、白印を本体の黒印に合わせます。☞ 図-5



3. 【OFF】 ノブを右に回し元の位置に戻します。☞ 図-6

操作時以外は、誤作動を避けるため、アームの先端を、ボタンから離しておいてください。



フォーカスノブの AF・MF 切り替えについて

AF 撮影時にフォーカスリングが回転して、レンズの全長が変化するレンズをご使用の場合に、フォーカスノブを引いて、回転させることにより駆動を切り離すことができ、レンズに負荷がかかりません。

AiAF Fisheye-Nikkor 16mm F2.8D などのレンズに便利な機能です。

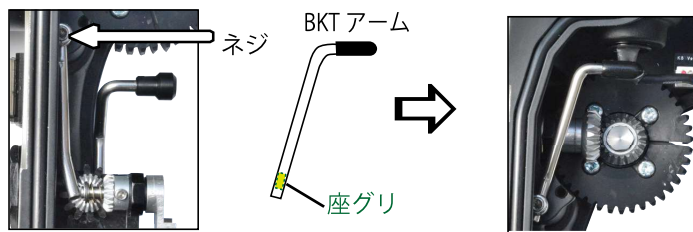


AF モードボタンを BKT ボタンに変更する

AF モードレバーは、アームの選択により「AF モードボタン」と「BKT ボタン」のどちらかの機能が選べます。

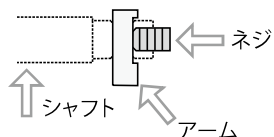
<アームの交換手順>

1. 2mm の六角レンチで、ネジをゆるめ AF モードアームを抜き取り BKT アームに交換します。BKT アームは付属品パッケージ内にあります。



2. アームの座グリ（段になった平らな部分）にネジを確実に固定します。座グリ以外のところで固定すると、使用しているうちにネジがゆるみ、操作ができなくなります。

ネジを締めた後、アームを回す、引っ張るなどしてガタがないことを確認してください。



3. カメラをセットして正常に動作することを確認します。

レンズ取り外しボタンの機能を止める

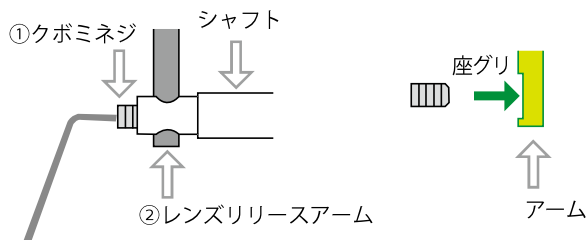
レンズ取り外しボタンのアームが、カメラを出し入れする際の妨げにならないように、必要な場合には機能を止めることができます。アームをレンズ取り外しレバー抜止めピン（▶本書 P1 付属品パッケージ内）に交換してください。

<手順>

1. ①のクボミネジを 2 mm の六角レンチでゆるめる。
2. ②のレンズリリースアームを抜き取り、ピンを取り付ける。

 **注意** ピンが無いとレバーが脱落して、防水機能が失われます。

レンズリリース機能を再開するときは、アームの座グリ（段になった平らな部分）にネジを固定してください。座ぐり以外ではゆるむことがあります。



コマンド／サブコマンドノブの滑りや空回り

カメラのダイヤル上にグリスや皮脂の油分が付着している可能性があります。油分が付着すると滑りやすくなり、空回りの原因となります。カメラ用のクリーニングクロスやペーパーできれいに拭き取ってご使用ください。ダイヤルを回すホイールのOリングの油分もきれいにふき取ってください。

背面ボタンが作動しない

露出補正ボタンやISOボタン、動画撮影ボタンが押されていませんか。内部のアームがボタンと接触していると作動しないことがあります。

ISOノブが回らない

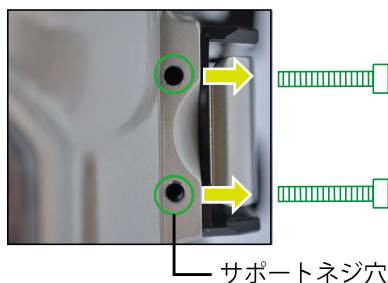
動画アームと干渉していませんか。
動画アームを少し下げても干渉を取り除いてください。

外部拡張 AF-ON ボタンのクリーニングについて

海水がついたまま放置すると、腐食、塩かみが発生し、動きが重くなります。操作部が正常に動くには、定期的な清掃とグリスアップが必要です。拡張ステータユニットの固定ネジを外して清掃とグリスアップを行ってください。

<取り付け時の注意>

サポートネジ穴には十分なグリス（はみ出すくらいの量）を詰めてください。
※グリスは徐々に消失していきます。グリスが少ないとネジが外せなくなります。



a n t h i s

有限会社 アンティス

〒444-2137 愛知県岡崎市藪田 1-16-1

TEL：0564-25-3937

FAX：0564-25-2205

<http://www.anthis.co.jp>

*改善により仕様および外観の一部を予告なしに変更することがあります。
*取扱説明書における本文および写真などの無断転載、複製を禁じます。